

会 議 錄

会議名	第5回光が丘地区まちづくり会議			
事務局 (担当課)	中央区役所 中央6地区まちづくりセンター 電話042-707-7049(直通)			
開催日時	令和7年11月7日(金) 19時30分~20時30分			
開催場所	光が丘公民館 大会議室			
出席者	委 員	23人(別紙のとおり)		
	その他の 事務局等	4人(こども・若者政策課1人、放課後児童対策課1人、生涯学習課長ほか1人) 4人(中央6地区まちづくりセンター所長ほか2人、地域活力推進員1人)		
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	3人	
公開不可・一部不可の場合は、 その理由				
会議次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 (1) 光が丘地区の課題への取組について (2) 地域活性化事業交付金について 4 その他の • 光が丘地区学校跡施設(旧青葉小学校)利活用基本計画及び新築エリアの市民検討体制について • 市立児童クラブの課題や今後の取組について 5 閉 会			

審　議　経　過

主な内容は次のとおり。

(○は委員の発言、●は事務局の発言)

1 開 会

割柏会長が開会

2 あいさつ

割柏会長あいさつ

説明の都合上、順番を入れ替え、4 その他 から議事が進行された。

4 その他の議題

- ・光が丘地区学校跡施設（旧青葉小学校）利活用基本計画及び新築エリアの市民検討体制について

こども・若者政策課及び生涯学習課より標記について説明された。

<主な意見・質問等>

特になし。

- ・市立児童クラブの課題や今後の取組について

放課後児童対策課より標記について説明された。

<主な意見・質問等 ○は放課後児童対策課の発言>

○市立の児童クラブが増えると民間の児童クラブは運営が厳しくなるのではないか。市立は職員の賃金が低いと感じる。職員の不足について、例えばインター生を募集して実務経験を積ませるなども考えられるのではないか。また、昔はこどもセンターによって職員の態度が違うと感じた。

⇒○送迎などサービスの内容を希望して民間児童クラブへ入会する利用者も多いことから、市立と民間それぞれの特徴を活かした両輪による取組を進めている。民間を第一希望としながらも入会できず、市立に入会するケースもある。時給については、近隣市と同水準だが、フルタイム勤務ではないため、収入としては低く感じるかもしれない。また、学生にも積極的に声をかけており、夏休みの期間や就職が決まってから卒業までの期間などを活用し、経験を積む目的で働く人もいる。支援員等に年齢の上限はないため、様々な人が働いている状況である。職員の勤務態度については、引き続き、研修等を行い標準化していく。

○小学3年生まででも待機児童が出ている中で、4年生の受け入れ拡大をされ

ても、本当に受け入れられるのか疑問がある。

⇒○3年生まででも待機児童が出ているクラブについては、4年生以上の受け入れ拡大を見据えて学校内で場所の確保に取り組んでいる。そのため、クラブ室として使用するために空調工事などを行った後は、待機児童の解消だけでなく、4年生の受け入れスペースも確保できる予定である。ただし、場所が確保できても、そこで働く職員が確保できなければ待機児童も受け入れできないため、各地区のまちづくり会議等で児童クラブの現状をお話しさせていただきながら、職員の募集を周知しているところである。

⇒○入会できなかった保護者や子どもたちは、落ちたことにショックを受け悲しい思いをしている。4年生まで広げて期待を持たせた上で結果入れないとなると、厳しいことを突き付けられた気持ちになることを分かってほしい。先ほども話があったが、賃金について、ある程度生活できるだけの給料が出れば、若い人たちがそのまま働き続けられると感じる。

⇒○若い人たちが就職先として選択でき、フルタイムで継続的に勤務している民間児童クラブ事業者があることも承知している。ご意見として参考にさせていただく。

○児童クラブとして開設する場所を学校敷地内にこだわらないのであれば、実施クラブの拡大が見込めると感じる。

⇒○学校から距離が離れることによる運用の難しさはある。

⇒○例えば、増加傾向にある空き家や来年県営上溝団地に設置される予定のコミュニティセンターなどが活用できるのではないか。

⇒○開所するには審査があるため、どこでもできる訳ではないと感じる。まずは地縁を活かし、知っている方にご紹介いただくことで、マンパワーの解消に協力できればと思う。

3 議題

(1) 光が丘地区の課題への取組について

【まちづくり部会の南部会長による報告】

始めに事務局より、前回報告のあった並木小学校閉校後の跡地利活用案について事務局から教育委員会へお伝えしたこと、現在府内検討中であるが、検討した内容は今後地域にもお話ししたいと教育委員会から回答があった旨報告された。

その後、南部会長より、上溝団地の新コミュニティセンターについて色々な意見があがっており、次の部会開催時に検討する旨報告された。

＜主な意見・質問等＞

○現時点での跡地利活用の検討内容を説明できないのは分かったが、今後のス

ケジュール感を示してほしい。

⇒●教育委員会の方からは、跡地活用の方向性をまとめているところであり、折を見て示させていただきたいと伺っている。事務局からも随時、ご報告等させていただきたいと考えている。

【安全・安心部会の青木部会長による報告】

特になし。

【子育て環境・健全育成部会の加賀谷部会長による報告】

<要旨>

11月2日にこどもまちづくり会議を開催した。定期試験の直前だったこともあり、弥栄中学校の生徒は出席できなかつたが、緑が丘中学校から新旧の生徒会長が出席し、平成28年度から取り組んでいる防災マップについてご意見をいただいた。このマップは年度内に一旦完成をさせ、印刷したいと考えている。中学生の視点で製作するこのマップは、いざという時に命を守る、家族の安否を確認する、更には中学生が地域のマンパワーとして行動を起こすための手助けにすることを目的としており、小さく折りたためて常に携帯できるサイズにする。また、製作後も、こどもまちづくり会議等で手直しをしていくことを考えている。

<主な意見・質問等>

特になし。

(2) 地域活性化事業交付金について

事務局より令和7年度第6次募集のスケジュール及び先ほど加賀谷部会長から説明のあったマップの製作について、申請があれば12月に臨時のまちづくり会議役員会を開催する旨説明を行った。

<募集スケジュール(第6次募集)>

11月13日(木) 募集締切り(郵送可、到着分まで)

申請があった場合は、臨時開催の役員会で報告後、書面で審査を行う。

続けて、地域活性化事業交付金の申請団体から「乱横断防止及び特殊詐欺対策等の意識向上事業」について、事業内容等の説明が行われた。

【乱横断防止及び特殊詐欺対策等の意識向上事業】

<説明要旨>

ヤオコー相模原光が丘店前の相武台相模原線(県道507号)沿いにおいて

は、乱横断行為が度々目撃され、重大な交通事故がいつ発生してもおかしくない状況となっている。このため、現在当該地道路両側のガードパイプ（防護柵）に啓発用の横断幕を設置しているが、古くなり汚れ等も目立ってきている。また、近年、特殊詐欺の手口が巧妙化・複雑化し認知件数、被害金額も増加傾向にあるが、特に光が丘地区においては、令和7年7月末時点で特殊詐欺等の被害総額が5千万円を超えており、光が丘地区まちづくり会議では空き巣被害も複数報告され、地区として早急に防犯意識を向上させ対策することが求められている。

のことから、古くなった乱横断防止の啓発用横断幕を処分し、新たに作成した横断幕を設置することで、効果的な啓発を図る。また、交通安全・防犯に関するチラシを作成し、横断幕の張り替えに合わせて村富線沿いで啓発活動を行うとともに、全戸配布することで、地区内全体の意識を向上させ、交通事故や詐欺等被害を防ぐもの。

<主な意見・質問等>

○今年度の特殊詐欺等の被害件数が5千万円を超えていたことだが、件数は何件か。

⇒●令和7年7月末時点で6軒（暫定値）である。

<結果>

本事業の実施が光が丘地区の安全・安心の確保に繋げることができると考えられるため、積極的採用とする。

5 閉 会

割柏会長が閉会

以 上

光が丘地区まちづくり会議委員出席名簿

No.	団体等	団体での役職等	氏名	出欠
1	光が丘地区自治会連合会	会長	割 柏 秀 規	出席
2	光が丘地区自治会連合会	副会長	阿 部 俊 夫	出席
3	光が丘地区自治会連合会	副会長	鈴 木 勝 雄	出席
4	光が丘地区自治会連合会	監事	南 雄 二	出席
5	光が丘地区自治会連合会	会計	藤 本 征 志	出席
6	光が丘地区社会福祉協議会	会長	加賀谷 育 子	出席
7	光が丘地区社会福祉協議会	会計	小 山 千 秋	出席
8	光が丘地区民生委員児童委員協議会	会長	石 井 和 子	出席
9	光が丘地区民生委員児童委員協議会	副会長	岸 豊 治	出席
10	光が丘公民館	館長	坂 本 きよか	欠席
11	光が丘公民館	青少年指導委員	富 木 美智世	出席
12	陽光台公民館	館長	前 田 進	出席
13	陽光台公民館	体育部長	佐 藤 直 樹	出席
14	光が丘地区子ども会育成連絡協議会	会長	羽 鳥 亜樹子	出席
15	老人クラブ連合会 (光が丘地区・陽光台地区)	光が丘地区	佐 藤 健 司	出席
16	光が丘地区交通安全母の会	会長	田 中 友 紀	出席
17	交通安全協会 (青葉支部・陽光台支部・光が丘支部)	光が丘支部	安 藤 浩 秋	出席
18	小学校 P T A	並木小学校 P T A	佐 藤 慶 一	出席
19	中学校 P T A	緑が丘中学校 P T A	太 田 剛 史	欠席
20	小・中学校長	弥栄中学校校長	古 屋 礼 史	出席
21	和泉短期大学		吉 田 久仁子	欠席
22	青少年健全育成協議会 (光が丘公民館区・陽光台地区)	光が丘公民館区	岡 見 益 義	欠席
23	防災専門員・防犯指導員	防犯指導員	村 松 映 介	出席
24	避難所運営協議会	光が丘小学校 避難所運営協議会会长	青 木 進 一	出席
25	光が丘地域包括支援センター	センター長	大 谷 尚 功	出席
26	一般社団法人光が丘ふれあいセンター		三 原 祐 子	出席
27	有識者		西 本 敬	出席